

2025年度 授業コード: 23104100

授業科目	*栄養教育論 I				実務家教員担当科目	-					
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	永原 真奈見										
授業概要	<p>栄養教育は、対象となる個人や集団が健康の維持・増進や疾病の予防・治療のために、自らの意思で食行動を望ましい方向に変容させ、問題解決を図ることができるように支援する行為である。</p> <p>本科目では、栄養教育基礎で学んだ意義や定義、目的などの概念をベースとして、栄養教育活動に必要な行動科学の理論や栄養教育マネジメントの進め方、栄養アセスメントの意義、教育教材の選択、評価や改善の手法等、栄養教育活動の理論的基盤と実際について解説する。</p>										
授業形態	対面授業			授業方法	アクティブラーニング（グループワーク，発表）を含む						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育に関わる理論とモデルについて説明できる。（DP1-2, DP2-1） 2. 行動変容のための行動科学理論及び技法について理解し、説明できる。（DP1-2, DP2-1） 3. 個人及び集団におけるカウンセリングの意義と特性について説明できる。（DP1-2, DP2-1） 4. 栄養教育の目標設定・計画立案・実施・評価・改善の流れを理解し、栄養教育マネジメントについて説明できる。（DP4-1, DP4-2） 										
理想的レベル	標準的レベル1～4の全てを達成したうえで、栄養教育マネジメントの実際に応用することができる。（DP1-2, DP2-1, DP4-1, DP4-2）										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験		60									
小テスト		20									
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）		10									
レポート外の提出物		10									
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT21701J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
予習：テーマに該当する箇所の教科書を読み、まとめる。 復習：講義で示された内容について、関心のある点や疑問点を掘り下げて調べ、重点事項をまとめる。										4	
授業計画											
第1回	テーマ：栄養教育の概念 ・オリエンテーション（本授業の進め方） ・栄養教育の概念について解説する。										
第2回	テーマ：人間の行動変容に関する理論										

	<ul style="list-style-type: none"> ・行動科学の基礎となる学習理論について解説する。 ・個人要因に焦点を当てた行動変容の理論について解説する。
第3回	<p>テーマ：人間の行動変容に関する理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人関係や環境要因に焦点を当てた行動変容の理論について解説する。
第4回	<p>テーマ：人間の行動変容に関する理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模集団や地域レベルに焦点を当てた行動変容の理論について解説する。
第5回	<p>テーマ：栄養教育マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育マネジメントの流れ及び用いる理論やモデルについて解説する。
第6回	<p>テーマ：行動変容のための技法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動変容技法の目的と具体的方法について解説する。
第7回	<p>テーマ：栄養教育のためのアセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養アセスメントの意義と目的について解説する。
第8回	<p>テーマ：カウンセリング技法と個人カウンセリングの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養カウンセリングの基本的技法を用いた、個人向けカウンセリングの実際について解説する。
第9回	<p>テーマ：カウンセリング技法と個人カウンセリングの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例における対象者の特徴、準備性、健康・栄養上の課題、カウンセリングの方向性を理解するための演習を行う。 ・カウンセリングの中で行動変容技法を活用できるように、技法の具体例を挙げて解説する。
第10回	<p>テーマ：栄養教育の目標設定と計画立案(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定や学習形態の種類や特徴について解説する。
第11回	<p>テーマ：栄養教育の目標設定と計画立案(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育プログラム及び学習者に適した学習材の選択について解説する。
第12回	<p>テーマ：栄養教育の目標設定と計画立案(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導略案の作成演習を通して、栄養教育計画の詳細について解説する。
第13回	<p>テーマ：栄養教育の実施と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施に向けての準備作業と評価方法について解説する。
第14回	<p>テーマ：栄養教育の評価と改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果を用いて栄養教育プログラムを改善する方法について解説する。
第15回	<p>テーマ：栄養教育論Ⅰのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育論Ⅰの重点項目について解説する。
テキスト	<p>国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（監修）：「栄養教育論(改訂第5版)（健康・栄養科学シリーズ）」（南江堂）</p>
参考図書・教材／データベース・	<p>参考図書：松本千明 著「健康行動理論の基礎」（医歯薬出版）、松本千明 著「健康行動理論実践編」（医歯薬出版）、公益社団法人日本栄養士会 監修「食事バランスガイド」を活用した栄養教育・食育実践マニュアル」（第一出版）、福田洋・江口泰正 編著「ハルスリテラシー」（大修館書店）</p>

雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	ワークシート等の提出物はコメントを添えて返却します。また、小テストは実施後に解説を行い、採点後に返却します。
学生への メッセー ジ・コメ ント	栄養教育は人を対象とし、その対象者の健康の維持・増進、QOL 向上のための行動変容を支援するものです。人の心理・行動を理解し、科学的根拠に基づいた栄養教育について学びます。教科書や配布資料等により予習・復習をして授業に臨みましょう。